様式S-2

共同利用実施報告書（研究実績報告書）

（大型計算機共同利用公募研究）

１．課題番号　　　２０　　　－S－

２．研究課題名（和文、英文の両方をご記入ください。）

　　　和文：

　　　英文：

３．研究代表者　所属・氏名

 （地震研究所　担当教員名）

４．研究組織の詳細（研究代表者も記載し、必要に応じ行を追加してください。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 所属・職名 | 担当 |
| （代表者) |  |  |
| （分担者） |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| （所内担当教員） |  |  |

【ご協力のお願い】

文部科学省へ提出する「共同利用・共同研究拠点実施状況報告書」において、研究者参加状況について、内数の記載が求められております。そのため、大変お手数をおかけいたしまして申し訳ございませんが、研究組織に含まれる研究者について、以下の情報をご教示くださいますようお願いいたします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究組織のうち　35歳以下 |  | 名 |
| 　　　　　　　　女性 |  | 名 |
| 　　　　　　　　外国人 |  | 名 |

※原則として、共同利用実施報告書は、地震研究所webサイトにて公開しておりますが、上記参加状況の内数につきましては、webサイトには掲載いたしません。

※文部科学省へは総数のみを報告し、課題毎の参加人数は報告いたしません。

５．研究計画の概要（800字以内でご記入ください。申請書に記載した「研究計画」から変更がある場合、変更内容が分かるように記載してください。）

|  |
| --- |
|  |

６．研究成果の概要（図を含めて１〜2頁で記入してください。）

|  |
| --- |
| キーワード（3〜5語程度）： |

研究成果の概要（続き）

|  |
| --- |
|  |

７．研究実績

※所外の課題代表者は、所内担当教員に必ず実績について地震研業績DBへの登録依頼をしてください。

国際学会発表（招待講演）

（学会発表かつ招待講演の場合、講演者名、タイトル、学会名、開催地、発表年（西暦）、招待について記入してください。

記入例：K.Obara, Meaning and prospect for science of slow earthquakes, IAG-IASPEI, Kobe Japan, 2017 (invited)）

国際学会発表

（学会発表の場合、講演者名、タイトル、学会名、開催地、発表年（西暦）について記入してください。

記入例：K.Obara, Meaning and prospect for science of slow earthquakes, IAG-IASPEI, Kobe Japan, 2017 ）

論文

（論文の場合、論文名、著者名、doi、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。doiが付与されている場合は、論文名とdoi、発表年のみでもかまいません。

記入例：Connecting slow earthquakes to huge earthquakes, Obara, K. and A. Kato, doi:10.1126/science.aaf1512, SCIENCE, 査読有，353, (6296), 253-257. 2016.）

８．外部資金の申請・採択状況（任意、本紙提出後に採択の際にはメールでお知らせください。）報告書（様式S-3）作成にあたってのお願い

・ Web申請システム（https://erikyodo.confit.atlas.jp/login）にて提出してください。

・ 本報告書は、地震研究所Webページから公開されます。

・ 「４．研究組織の詳細」については、当該共同利用に参加した研究者全員について個別に、氏名・所属・職名・担当を記入してください。必要に応じて表の行を追加してください。

・「４．研究組織の詳細」については、文部科学省へ提出する「共同利用・共同研究拠点実施状況報告書」において、研究者参加状況について、内数の記載が求められております。そのため、差し支えなければ、研究組織に含まれる研究者について、35歳以下の若手研究者、女性研究者及び外国人研究者の内数について、ご記入ください。

・ 「７．研究実績」には、原則として、雑誌および学会講演等として公表された成果（投稿済も可）のリストを記載してください。論文、学会講演予稿などについては、可能であれば電子媒体にて下記メールアドレス宛にご提出ください（未受理のものを除く）。難しい場合は、郵送にてご提出ください。

・ 学会講演予稿の公開について、既存の公開サイトがあり、リンクが可能な場合にはリンク先を記載してください。予稿が公開されておらず、また、リンクが不可能な場合には、地震研究所Webページからの公開可否を記載してください。

・ 「８．外部資金の申請・採択結果」は、共同利用・共同研究拠点事業の参考成果として参照させて頂きます。本公募研究成果から、各種競争的資金・受託研究・産学連携の共同研究などへ繋がった場合は、その名称、研究課題名、期間、代表者、資金総額（予定額）などについて、記載してください。

【提出先】

〒113-0032 東京都文京区弥生1-1-1

東京大学地震研究所研究支援チーム（共同利用担当）

E-mail：k-kyodoriyo@eri.u-tokyo.ac.jp

|  |
| --- |
| 研究成果公表にあたってのお願い東京大学地震研究所の大型計算機共同利用公募研究により得た研究成果を発表する場合は、地震研究所より助成を受けたことおよび情報基盤センターの計算機システムを利用したことを必ず記載してください。予稿集またはプロシーディングスも同様です。Acknowledgment(謝辞)に、地震研究所より助成を受けた旨を記載する場合には「ERI JURP　20XX-X-XXの課題番号」を必ず含めてください。（記載例：課題番号｢2009-S-01｣）This study/workshop was supported by ERI JURP 2009-S-01. This research was conducted using the Fujitsu PRIMERGY CX600M1/CX1640M1 (Oakforest-PACS) in the Information Technology Center, The University of Tokyo.  |